

質問に対する回答について
工事名) 常磐自動車道 浪江工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>数量明細書 (1) 構造物裏込め工裏込め工B のり面工</p> <p>構造物裏込め工・裏込め工B・のり面工 部の数量：6,288.5m³に関して、図面の 数量表を合計すると3,047.0m³になりま す。追加分・室原橋橋台巻き込み部の数 量（約3,000m³）が加算されていないで しょうか。数量合計の確認をお願いいた します。</p>	<p>構造物裏込め工 裏込め工B のり面工 の数量は3,047m³が正となります。</p> <p>交付図書の一部に不備がありましたので 訂正致します。</p> <p style="text-align: center;">（4月4日掲載予定）</p>
2	<p>構造物掘削特殊部B</p> <p>構造物掘削・特殊部Bの親杭・鋼矢板施工 時にクローラクレーンを使用すると思わ れますが、クレーンの分解組立費はそれぞ れの構造物掘削単価に含まれると考えるよ ろしいでしょうか。</p>	<p>構造物掘削 特殊部B1、B2、B3にク ローラクレーンの分解組立費は含まれ ておりません。</p> <p>クローラクレーンの分解組立費につい ては割掛項目とします。</p> <p>交付図書の一部に不備がありましたので 訂正致します。</p> <p style="text-align: center;">（4月4日掲載予定）</p>
3	<p>特記仕様書 P32 27-4-1 構造物掘削 特殊部 A1～A6</p> <p>鋼矢板の打込（硬質岩盤圧入機による施工） の N 値は $180 < N_{max} \leq 250$、$250 < N_{max} \leq$ 375、$375 < N_{max} \leq 500$ のうち想定 N 値の範 囲をご教示願います。</p>	<p>交付図書に示すとおりです。</p>
4	<p>割掛け対象内訳書 共通仮設費 仮設材運 搬費</p> <p>運搬の長さ 12.0m以内、12.0m超で 15.0m 以内、15.0m超の区分別で数量をご教示願 います。</p>	<p>割掛対象表参考内訳書に関する質問は受 付けておりません。</p> <p>設計図書に基づき必要な費用を計上して ください。</p>

5	設計図面 46/67, 58/67, 59/67 A1、A2 橋台土留詳細図 アンカー工の足場数量をご教示願います。	貴社の計画に基づき必要な費用を計上してください。
6	特記仕様書 P17 13-1 支給材料 仮設防護柵の設置数量は 640m で 2.64 k m は 0.64 k m の誤りでしょうか、 また浪江地区土取場から設置個所までの運搬距離をご教示願います。	特記仕様書 13-1 支給材料に示す数量は、支給可能量を記載しており、契約後必要数量を支給いたします。 また、運搬については、貴社の計画に基づき必要な費用を計上してください。
7	図面 62/67 補強土壁工 G 計画図 金抜設計書 番号 114 補強土壁工 G の数量は 106m ² で図面は 57m ² です、誤りでしょうかご教示願います。	令和 5 年 3 月 2 8 日掲載の質問番号 11 に対する回答を参照ください。
8	数量明細書 (1/8) ページ 構造物裏込め工のり面工 6,288.5m ³ の数量に対して補強土壁工の裏込め数量 3,047m ³ の他見当たりません。残数量 3,241.5m ³ についてご教示願います。	質問番号 1 に対する回答を参照ください。
9	特記仕様書 31~34 ページ 客土掘削 A1,A2、構造物掘削 A1~A6、B1~B3 において、すべて下部路床、上部路体、下部路体への敷均し転圧となっており各土量の内訳が不明瞭です。下部路床の数量と採取箇所をご教示願います。	下部路床の数量は設計図書に示すとおりです。採取箇所については、貴社の施工計画にてお考え下さい。
1 0	放射性物質濃度測定工 A 放射性物質濃度測定を行うために、特別な資格等を有する技術者の配置が必要となるのでしょうか。	放射性物質濃度測定には、特別な資格等を有する技術者の配置は不要です。 なお、補足事項に記載のとおり測定結果によって必要な体制の構築を指示する場合があります。
1 1	補強土壁工 G 補強土壁工 G の施工数量に関して、数量明細表では 106.2m ² となっておりますが、図番 62/67 の数量表では 56.9m ² となっております。 どちらの値が正しいのでしょうか。	令和 5 年 3 月 2 8 日掲載の質問番号に 11 に対する回答を参照ください。

1 2	<p>基礎材B</p> <p>特記仕様書「17-1 再生資材の使用」より基礎材Bの材料は180m³すべてが再生クラッシャーランとなっておりますが、図面ではC-P(Cor)の基礎材は砂となっております。砂の材料代は積算に反映せず、材料すべてを再生クラッシャーランとして積算を行うのでしょうか。</p>	<p>特記仕様書「17-1 再生資材の使用」では、再生資材を使用する単価表の項目と数量を記載しております。</p> <p>基礎材Bの材料は図面のとおりです。</p>
-----	--	--